

# 道の駅大和路へぐり

## 令和5年(2023)のプロジェクトの取り組み実績

国、県が推し進める「道の駅を地方創生、観光の加速拠点に、そして世界ブランドに!」に呼応し、ブランド力の高い平群の地域資源を活用して、未来へ継承・発展を目指し、官民連携・協働により、様々な取り組みを実施した結果、県内外の来訪者、SNS、テレビメディアから注目されました。

今、道の駅大和路へぐりは、あらゆる世代の交流ネットワークと賑わいの拠点になっています。

### ■コロナ禍以降、売上げは年々増大 令和5年9月奈良県道の駅人気ランキング第1位

平群産農産物を核とした「とれたて市」の産地直売、県内産ブランド商品、へぐりブランドスイーツ等の令和4年度決算売上実績額5億6千万円（対令和2年度決算比1.31倍）。

一方、町内農業生産者の高齢化と担い手不足により、消費者が満足する農産物の量・品数の減少、および質の低下が懸念されています。その課題克服のため、新たな取り組みとして、道の駅大和路へぐりが核となって地域ぐるみの6次産業化を進めて、持続可能な安定経営により生産者の支援をしています。



とれたて市の賑わい



手作りみそ



古都華ピューレ加工

### ■「愛と賑わいのあるふれあい広場」の魅力の高まりから賑わい向上

憩いの場となっている「ふれあい広場」花壇の植栽を町観光ボランティアガイドの会、屋外店舗事業者らの皆さんと協働で定期的に植え替えています。平群町の歴史文化と四季折々の自然の魅力とおもてなしが、県内外からの来訪者を温かく迎えています。



ボランティアにより手入れされた花壇

### ■「奈良まほろば魅力八景木版画展」を連続開催

平群町と県内各地の歴史文化・自然の魅力を木版画で表現された力強い木版画作品を令和4年から令和5年まで1年間、道の駅大和路へぐり情報コーナーで開催しました。この開催を記念して、木版画家石渡武夫氏から木版画作品の寄贈を受けました。



寄贈セレモニー(4月21日)

### ■道の駅大和路へぐり 四季フェスタ の開催

幅広い層の集客と賑わいを創出する「道の駅大和路へぐり未来プロジェクト」を推進し、四季フェスタを実施しました。秋のフェスタでは、へぐりローズ「幸せの花リング」写真スポットを設け、平群の魅力を発信しました。

2023冬・春「古都華フェア～古都華の聖地:平群～」	令和4年12月～4月
2023春「へぐり美(うるは)しフェスタ」	4月22日～5月31日
2023夏「平群ブランドフェスタ」	7月1日～9月30日
2023秋「平群ブランド収穫&フラワーフェスタ」	10月1日～11月30日
2024冬・春「古都華フェア～古都華の聖地:平群～」	12月～令和6年4月



幸せの花リング(バラ)

「古都華の聖地」:農産物が平群の地域振興のエンジンです。